



## 理事長のごあいさつ



理事長:中川原 章  
(なかがわら あきら)

### 新年度を迎えて

平成28年春の新年度を迎え、一言ご挨拶を申し上げます。

今年度は、好生館が県立病院から地方独立行政法人へ移行して7年目となります。また、法人化後の第2期中期計画(4年間)としては、後半に入る節目となる時です。この間、好生館の経営内容も大幅に改善し、平成26年度から本格的に始まった新病院建替えの償還金返済や、旧好生館跡地の整備にかかる費用も、支払いが何とか可能になっています。これも、全職員の努力のほか、地域の皆様の支えがあったから出来たことです。衷心より感謝申し上げます。

第2期中期計画前半の2年間を振り返りますと、先ず、患者さん・ご家族に対する接遇マナーの改善に力を入れ、地域医療連携センターや相談支援センターの機能を強化して、顔の見える連携を目指しました。また、明治時代にあってその後無くなっていた研究所も新たに立ち上げ、国の科学研究費の獲得も可能になりましたので、今後、佐賀県のがん登録事業や、一人一人にあったがんやその他の生活習慣病の個別化医療の実現を可能にしていきたいと思っています。さらに、臨床検査部門が国際標準規格のISO15189を佐賀県で始めて取得したほか、厚生労働省から平成28年度のDPC第II群病院の認定を受け、病院の各種機能指数が大学病院並みに高いことが示されました。

この4月から、第2期中期計画の後半に入りますが、全職員と共にさらに研鑽を積み、地域社会の益々の期待に答えられる好生館になることを誓いたいと思います。

これからも変わらぬご支援とご指導をいただきますよう、切にお願い申し上げます。

平成28年4月